

2017企業連携プロジェクト期末発表プログラム

日時:2018年2月9日(金)12:55~18:00 場所:K2-1407室

順番	発表者	タイトル
1	1533018 町田 優希	眼球運動を利用した大型ラインディスプレイの製作及び評価
	1533041 遠藤 大暉	視線移動で生じる高速な眼球運動中に、点滅する光点列の残像を人に知覚させる大型のラインディスプレイを製作する。またその評価実験を行い、安定して知覚できる条件を明らかにする。
	1533043 豊田 征岐	
2	1533039 宮内 佑輔	ユニバーサルデザインを取り入れた超人格闘技「袖拳VR」
	1533010 大沼 龍之介	上肢障害者と格闘家に対等な戦いを可能にするため、上肢障害者用コントローラとHMDを用いた超人格闘技「袖拳VR」を提案する。システムは障害者と格闘家が体格差なく戦える新たな超人スポーツを実現する。
3	1533035 川手 大樹	ヒューマンセンサの顔追跡を用いた雰囲気メガネによる感情の見える化
	1533045 田中 大地	本研究では最新型ウェアラブルデバイス「雰囲気メガネ」を活用し、母親が家事をやっている時に離れた場所にいる赤子の感情を読み取り、すぐに伝えることができるようにすることを提案する
4	1533046 飯塚 洸輝	新しいクリーナーのデザイン
	1533019 日影 大	現在のハンディークリーナーの問題点をあぶりだし、解決するデザインを考察した。ユニバーサルデザインに基づいた新しいクリーナーを目指し、デザイン及びチェックアップを作成した
5	1533020 高村 走	新しいマルチメディアテレビのデザイン
	1533027 番場 爽颯	現在日本で売られているテレビのデザインは基本薄く、大型でスリムな造形が多い。そこで、新しい機能やデザインをプラスすることによりマルチメディアに対応した新しいテレビをデザインすることにした。
6	1533037 小川 壘	商品企画「空間を描く窓」の提案
	1533005 山村 洋輝	ディスプレイパネルの大型化に伴い、疑似窓としての利用が始まっているがその再現性はまだまだ不十分である。
	1433054 小山 天幕	そこで自分たちは本来の窓としてのどの程度の性能が必要かを検討し商品企画を考えた。
7	1533025 安藤 涼	スマートフラインドアプリの開発
		ECHONET対応の家電が増えている中、制御するコントローラは配信されていない。本プロジェクトでは、それに対応したスマートフォンアプリを作成し、ECHONETの普及を促すことを目的とする。
8	1533036 青木 大夢	スマートメータを用いたサービスアプリの作成
	1533042 矢澤 将虎	スマートメータの情報を用いたアプリ開発を行った。一つは過去一週間の各日の消費電力量と気温との関係を見える化するアプリで、もう一つは在宅・外出時の瞬時電力の上限を超えるとメールで通知するアプリである。
9		休憩(5分間ぐらい)
	1533050 鈴木 優希	ロボット対話とIoT機器を活用したストレスフリーキッチン
	1533009 神林 優河	本研究は、IoT機器や対話に関するAI技術を用いてストレスのないキッチン環境の実現を目指す。IoT機器を連携制御できる技術「R-env:連舞」を用いたプロトタイプを作成しその有効性について報告する。
10	1533033 石川 拓実	浴槽洗い家電「綺麗槽(きれいそう)」
	1533048 渡邊 裕介	浴槽清掃の負担を解消するため手軽に導入できる浴槽洗浄機の製作を行った。浴槽の蓋の裏に洗浄ノズルを取り付け、浴槽に付着した汚れを高圧の水で洗浄する。洗浄ノズルには穴を開けたホースを使えることがわかった。
11	1533051 鈴木 雄大	IoTを利用したアプリ連動家電システム
	1533013 石川 颯	外出時の宅配受取システムである。住人は宅配者の来たことをスマホで受け、システムのカメラで宅配者を確認しスマホで受取口を開錠し、荷物を入れてもらう。住人はカメラで荷物確認後スマホで受領印用窓を開ける。
12	1533030 岡村 雅也	SEN 3: 温湿度に関する個人の嗜好情報を自動的に取得する扇子
	1533011 野本 裕介	ユーザーが暑さを感じた時に扇子を開く行動をトリガーとして、その時点の周囲の温湿度を自動取得し集計することでログを取得し、追加行動を必要とせずユーザーの嗜好情報を取得するセンサー付き扇子を提案する。
13	1533014 高橋 達史	無線通信を用いた生体情報取得システムの開発
	1533044 稲岡 利明	本プロジェクトでは人体の心拍信号を取得し、Wi-Fi無線通信でデータ収集用の上位パソコンへ心拍情報を送信することで心拍数や筋肉の質等を分析する生体情報取得システムの開発を行った
14	1533026 和久 亮	大規模災害時における要配慮者向け電子トリアーシステムのプロトタイプ開発
		大規模災害発生直後の避難所生活において日々容態が変わりやすい要配慮者のため、迅速に適切な対応・看護を行うための要配慮者向け電子トリアーシステムのプロトタイプ開発を行った
15	1533023 金指 洸稀	LEDキャンドルデバイスの実証実験とその応用方法の検討
	1533024 米澤 祐人	LEDキャンドルデバイスの性能評価を行った。JIS規格から照明として応用可能な分類を決定した。また新宿中央公園での実証実験からアンケートを取った90%以上のお客様からキャンドルに見えるとの評価を得た。
	1533034 蟹澤 功樹	
	1533007 大河原 翔	
16		休憩(5分程度)
	1533032 吉野 秋悟	ユーザー目線から見た掃除機・掃除用具の性能評価
17	1533047 長山 慎司	本プロジェクトは、掃除機及び掃除用具の性能比較をアンケートや実験を通して行った。その結果をもとに価格・利便性・時間・除去率・快適さの5項目で各掃除用具の性能評価をユーザー目線で行う。
	1533022 早坂 亮	コードレス掃除機の運転音に関する実験的考察
18	1533003 川島 健弥	近年、掃除機の種類が増えている。その中手軽さが売りのコードレス掃除機があるが運転音が大きくマンションなどに住む人は使いづらいことがある。そこでコードレス掃除機の運転音の改善をテーマに実験を進めた
	1533016 小林 亮太	新しいLEDシーリングライトの性能及び機能の考察
19	1533031 廣瀬 慶治	私たちは日立製家庭用LEDシーリングライト(8畳用)の新旧製品の性能比較を行った。また新機能「まなびのあかり」で実験やアンケートを行い学習への影響や効果を調査した。このような実験を経て将来的に会社や学校への導入に役立ちたいと考えている
	1533001 布施 宏樹	冷媒を使用しないクーラー「Afro Air」の開発
20	1533021 佐々木 柊	バングラデシュで提案された電気を使わず、ペットボトルを利用したクーラー「Eco cooler」の検証を行った。その上で環境に優しい省エネエコクーラーの開発、商品化に向けて試作実験した結果を報告する。
	1533012 中田 尚人	真空管マイクロホンの試作とヘッドホンの改造
21	1533040 佐藤 薫	今回の企業連携プロジェクトではトランスレスで固有雑音が低く、さらに最大出力レベルを上げることでダイナミックレンジの大きい真空管マイクロホンの試作を行った。また、ヘッドホンの改造と音質評価を行った。
	1533038 横山 章啓	リアルタイム画像処理機能を搭載した移動式ロボットの開発
21	1533006 袴田 大樹	自律ロボットに対する人々の要求の高まりから、移動式ロボットの競技課題は年々高度化しており、画像処理機能は必須である。本研究ではリアルタイム画像処理機能を搭載した自律ロボットを開発し、評価実験を行った
	1533015 金丸 斗生	